



安全データシート

Copyright, 2026, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

Document Group Number	45-5257-6	版	1.00
発行日	2026/03/02	前発行日	初版

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3M[™] キュービトロン[™] 3 セラミックベルト 1169F

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

研磨材製品

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	オート・アフターマーケット 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

2. 危険有害性の要約

GHS分類

有害区分に該当しない。

GHSラベル要素

注意喚起語

適用しない。

シンボル

適用しない。

ピクトグラム

適用しない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
硬化樹脂	なし	15 - 40
クロスバックキング	なし	10 - 30
酸化アルミニウム	1344-28-1	10 - 30
セラミック	66402-68-4	10 - 30
六フッ化ナトリウムアルミニウム	13775-53-6	13
石灰石	1317-65-3	1 - 10
珪灰石	13983-17-0	3 - 7
ホウフッ化カリウム	14075-53-7	5.8
フッ化カルシウム	7789-75-5	0.5 - 1.5
分散剤（専有品）	営業秘密	< 0.7
樹脂	営業秘密	< 0.7
酸化チタン(IV)	13463-67-7	0.50
結晶性シリカ	14808-60-7	0.15

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

石鹸と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

無理に吐かせない。口をゆすぐ。気分が悪い場合は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置**

新鮮な空気でその場所を換気する。 他のセクションの使用上の注意を見る。

環境に対する注意事項

適用しない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

適用しない。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い**

通常の使用条件のもとでは、本製品からの有害化学物質の放出は予想されない。 工業用又は業務用。消費者用途への販売、使用禁止。 切削、研磨、加工により発生するダストの吸入を避ける。 損傷した製品は使用中に砕け散り、顔や眼に重傷をもたらすことがある。使用前に亀裂や欠け跡があるかを確認する。損傷がある場合は取り替える。研磨作業を行う場合又は作業付近にいる場合は、眼及び顔面保護具を常に着用する。 本製品の使用により可燃性粉塵が生じることがある。 本製品から発生する粉塵は、粉塵の濃度、点火源などの存在により爆発を引き起こすことがある。製品表面に粉塵が溜まったまま放置しないようにする。

保管

適用しない。

セクション 8 : ばく露防止及び保護措置**管理項目****許容濃度及び管理濃度**

セクション 3 に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
石灰石	1317-65-3	JSOH OELs	TWA (総粉じん) (8時間) : 4mg/m ³ ; TWA (吸入性粉じん) (8時間) : 1mg/m ³	
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの、吸入粒子	1317-65-3	ACGIH	TWA (吸入粒子) : 10 mg/m ³	
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの、吸入性粒子	1317-65-3	ACGIH	TWA (吸入性粒子) : 3 mg/m ³	
金属アルミニウム及び不溶性化合物、吸入性画分	1344-28-1	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 1mg/m ³	A4 : ヒトに対する発がん性物質として分類で

				きない物質
酸化アルミニウム	1344-28-1	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして)(8時間):2 mg/m ³ ;TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):0.5 mg/m ³	
不溶性又は難溶性粒子状物質 で他に特段の指定がないもの、 吸入粒子	1344-28-1	ACGIH	TWA(吸入粒子):10 mg/m ³	
不溶性又は難溶性粒子状物質 で他に特段の指定がないもの、 吸入性粒子	1344-28-1	ACGIH	TWA(吸入性粒子):3 mg/m ³	
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ACGIH	vTWA(吸入性ナノ粒子):0.2 mg/m ³ ;TWA(吸入性微粒子):2.5 mg/m ³	A3: 動物発がん性物質
酸化チタン(IV)	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(チタンとして、総粉じんとして)(8時間):2 mg/m ³ ;TWA(チタンとして、吸引性粉じんとして)(8時間):1.5 mg/m ³ ;TWA(8時間):0.3 mg/m ³ ;TWA(提案)(8時間):0.3 mg/m ³	2B: ヒトに対しておそらく発がん性がある (証拠が比較的の不十分)
フッ化物(フッ素として)	13775-53-6	ACGIH	TWA(フッ素として):2.5mg/m ³	A4: ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
珪灰石	13983-17-0	ACGIH	TWA(吸入性分画):1mg/m ³	A4: ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
結晶質シリカ, 吸入性粉じん	14808-60-7	JSOH OELs	TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):0.03 mg/m ³ ;CEIL(吸入性粉じんとして):0.03 mg/m ³	1: ヒトに対して発がん性がある。
結晶質シリカ, 吸入性粉じん	14808-60-7	JSOH OELs	TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):0.03 mg/m ³ ;CEIL(吸入性粉じんとして):0.03 mg/m ³	1: ヒトに対して発がん性がある。
結晶質シリカ, 呼吸性分画	14808-60-7	ACGIH	TWA(吸入性分画):0.025 mg/m ³	A2: ヒトに対して発がん性が疑われる物質
フッ化物(フッ素として)	7789-75-5	ACGIH	TWA(フッ素として):2.5mg/m ³	A4: ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA: American Industrial Hygiene Association

ISHL: 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値): 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs: 日本産業衛生学会許容濃度

TWA: 時間加重平均値

STEL: 短時間ばく露限界値

ppm: 百万分率

mg/m³: ミリグラム/立方メートル

CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策

研磨・研削・切削加工のために適切な局所排気装置を準備・提供する。 粉塵発生源付近での暴露抑制及び作業区域への粉塵の流入防止のために製造現場に局所排気を準備・提供する。 排気ダクト、集塵機、処理装置など、作業環境へのダスト流入防止システムがあることを確認する。

保護具

眼の保護具

顔と眼の損傷リスクを最小にするために、研磨作業を行う場合又は作業付近にいる場合は、眼及び顔面保護具を常に着用する。 ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

サイドシールド付安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

粉塵に接触又は研磨材に接触して起こる皮膚の損傷リスクを最小にするために適切な手袋を着用する。

呼吸用保護具

加工する全材料のばく露濃度を評価すること。呼吸保護具を選択する場合は、研磨される材料を考慮すること。過度の吸入ばく露を避けるため、適切な保護マスクを選択して使用すること。

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

使い捨て式防じんマスクまたは取替え式防じんマスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	固体
色	紫色
臭い	微ポリマー臭。
臭いの閾値	データはない。
pH	データはない。
融点・凝固点	データはない。
沸点，初留点及び沸騰範囲	データはない。
引火点	データはない。
蒸発速度	データはない。
引火性	適用しない
燃焼点（下限）	データはない。
燃焼点（上限）	データはない。
蒸気圧	適用しない
相対蒸気密度	適用しない
密度	データはない。

比重	データはない。
溶解度	データはない。
溶解度（水以外）	データはない。
n-オクタノール/水分分配係数	適用しない
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
動粘性率	データはない。
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 （JIS-GHSの要求項目ではない）	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

粒子特性	適用しない
------	-------

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

未確定

混触危険物質

未確定

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

当社が推奨する使用条件では有害な分解生成物は予想されない。有害な分解生成物は酸化、加熱又は他の物質との反応によって発生することがある。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

研磨粒子による粉塵は特定の臓器に障害を及ぼすおそれがある。

皮膚に付着した場合

機械的な皮膚刺激： 創傷、発赤、疼痛、かゆみなどの症状。

眼に入った場合

機械的な眼刺激： 疼痛、発赤、流涙、角膜創傷などの症状。 研磨粒子による粉塵は眼を刺激する。症状は充血、腫れ、痛み、涙、かすみ目など。

飲み込んだ場合

人体への健康影響は考えられない。

追加情報

このSDSは3M製品のみを対象とします。危険有害性の程度を決める場合、完全な評価をするためには、研磨される材料についても考慮する必要があります。 本製品は、二酸化チタンと結晶性シリカを含みます。動物実験で高いレベルの二酸化チタンの吸入は、肺がんに関連付けられています。また、結晶性シリカの職業的ばく露は、けい肺と肺がんに関連付けられています。通常のハンドリングでは、二酸化チタンと結晶性シリカへのばく露は予想されません。空気サンプリングのシュミレーションでは、二酸化チタンと結晶性シリカは、検出されませんでした。それゆえ、二酸化チタンと結晶性シリカに関連する健康影響は、通常の条件化では予想されません。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するのに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
酸化アルミニウム	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
酸化アルミニウム	吸入－粉塵 / ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 2.3 mg/l
酸化アルミニウム	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
セラミック	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
セラミック	経口摂取		LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
六フッ化ナトリウムアルミニウム	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,100 mg/kg
六フッ化ナトリウムアルミニウム	吸入－粉塵 / ミスト (4 時間)	ラット	LC50 4.5 mg/l
六フッ化ナトリウムアルミニウム	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ホウフッ化カリウム	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ホウフッ化カリウム	吸入－粉塵 / ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 5.3 mg/l

	時間)		
ホウフッ化カリウム	経口摂取	ラット	LD50 5,854 mg/kg
珪灰石	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
珪灰石	皮膚	類似化合物	LD50 > 5,000 mg/kg
珪灰石	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	類似化合物	LC50 > 2.08 mg/l
石灰石	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
石灰石	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 3 mg/l
石灰石	経口摂取	ラット	LD50 6,450 mg/kg
フッ化カルシウム	皮膚	専門家による 判断	LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
フッ化カルシウム	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 5.07 mg/l
フッ化カルシウム	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
酸化チタン(IV)	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
結晶性シリカ	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
結晶性シリカ	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
セラミック	ウサギ	刺激性なし
六フッ化ナトリウムアルミニウム	多種類の 動物種	刺激性なし
ホウフッ化カリウム	ウサギ	刺激性なし
珪灰石	類似化合物	刺激性なし
石灰石	ウサギ	刺激性なし
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
結晶性シリカ	専門家による判断	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
セラミック	ウサギ	軽度の刺激
六フッ化ナトリウムアルミニウム	ウサギ	軽度の刺激
ホウフッ化カリウム	ウサギ	刺激性なし
珪灰石	類似化合物	軽度の刺激
石灰石	ウサギ	刺激性なし
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
珪灰石	ヒト	区分に該当しない。
酸化チタン(IV)	ヒト及び動物	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
酸化アルミニウム	In vitro	変異原性なし
セラミック	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
珪灰石	In vitro	変異原性なし
珪灰石	In vivo	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vivo	変異原性なし
結晶性シリカ	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
結晶性シリカ	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム	吸入した場合	ラット	発がん性なし
セラミック	吸入した場合	多種類の動物種	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化チタン(IV)	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
酸化チタン(IV)	吸入した場合	ラット	発がん性
結晶性シリカ	吸入した場合	ヒト及び動物	発がん性

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
珪灰石	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 1,600 mg/kg/日	器官発生期
石灰石	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 625 mg/kg/日	交配前および妊娠中。

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
石灰石	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.812 mg/l	90 分

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
酸化アルミニウム	吸入した場合	塵肺症	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
酸化アルミニウム	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
セラミック	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 入手できない	
セラミック	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
六フッ化ナトリウムアルミニウム	吸入した場合	骨、歯、爪及び/又は毛髪	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	NOAEL 0.0005 mg/l	5 月
六フッ化ナトリウムアルミニウム	吸入した場合	呼吸器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	NOAEL 0.00021 mg/l	90 日
六フッ化ナトリウムアルミニウム	経口摂取	骨、歯、爪及び/又は毛髪	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	LOAEL 0.58 mg/kg/日	14 週
珪灰石	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
珪灰石	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト及び動物	NOAEL 入手できない	
珪灰石	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/日	2 年
珪灰石	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/日	2 年
珪灰石	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/日	2 年
石灰石	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
酸化チタン(IV)	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
酸化チタン(IV)	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
結晶性シリカ	吸入した場合	珪肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく

誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
酸化アルミニウム	1344-28-1	該当なし	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	>100 mg/l
セラミック	66402-68-4	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
石灰石	1317-65-3	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	>100 mg/l
石灰石	1317-65-3	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	>100 mg/l
石灰石	1317-65-3	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	>100 mg/l
石灰石	1317-65-3	緑藻類	推定値	72 時間	EC10	>100 mg/l
珪灰石	13983-17-0	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
フッ化カルシウム	7789-75-5	珪藻	推定値	96 時間	Ebc50	167 mg/l
フッ化カルシウム	7789-75-5	緑藻類	推定値	96 時間	Ebc50	89 mg/l
フッ化カルシウム	7789-75-5	アミ	推定値	96 時間	EC50	21.6 mg/l
フッ化カルシウム	7789-75-5	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	21.4 mg/l
フッ化カルシウム	7789-75-5	ヨコエビ	推定値	14 日	IC20	5.1 mg/l
フッ化カルシウム	7789-75-5	ヨコエビ	推定値	96 時間	EC50	17 mg/l
フッ化カルシウム	7789-75-5	ニジマス	推定値	21 日	NOEC	7.8 mg/l
フッ化カルシウム	7789-75-5	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	7.6 mg/l
フッ化カルシウム	7789-75-5	液状化	推定値	3 時間	NOEC	1,050 mg/l

ウム						
フッ化カルシウム	7789-75-5	鳥	推定値	24 時間	LD50	35 mg/kg(体重)
ホウフッ化カリウム	14075-53-7	ゴールデンオルフェ (鯉)	実験	96 時間	LC50	760 mg/l
ホウフッ化カリウム	14075-53-7	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	>100 mg/l
ホウフッ化カリウム	14075-53-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
ホウフッ化カリウム	14075-53-7	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	216 mg/l
ホウフッ化カリウム	14075-53-7	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	100 mg/l
ホウフッ化カリウム	14075-53-7	バクテリア	実験	18 時間	EC50	550 mg/l
六フッ化ナトリウムアルミニウム	13775-53-6	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	8.8 mg/l
六フッ化ナトリウムアルミニウム	13775-53-6	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	156 mg/l
六フッ化ナトリウムアルミニウム	13775-53-6	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	99 mg/l
六フッ化ナトリウムアルミニウム	13775-53-6	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	1 mg/l
六フッ化ナトリウムアルミニウム	13775-53-6	液状化	実験	3 時間	EC50	>160 mg/l
六フッ化ナトリウムアルミニウム	13775-53-6	ミツバチ	実験	1 日	LD50	2,245 μ g/ハチ
結晶性シリカ	14808-60-7	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	440 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	7,600 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	ゼブラフィッシュ	推定値	96 時間	LC50	5,000 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	60 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	液状化	実験	3 時間	NOEC	>=1,000 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	EC50	>10,000 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	ファットヘッドミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
酸化チタン	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	NOEC	5,600 mg/l

(IV)						
------	--	--	--	--	--	--

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
酸化アルミニウム	1344-28-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
セラミック	66402-68-4	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
石灰石	1317-65-3	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
珪灰石	13983-17-0	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
フッ化カルシウム	7789-75-5	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ホウフッ化カリウム	14075-53-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
六フッ化ナトリウムアルミニウム	13775-53-6	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
結晶性シリカ	14808-60-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
酸化チタン (IV)	13463-67-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
酸化アルミニウム	1344-28-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
セラミック	66402-68-4	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
石灰石	1317-65-3	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
珪灰石	13983-17-0	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
フッ化カルシウム	7789-75-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

		る。				
ホウフ化カリウム	14075-53-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
六フッ化ナトリウムアルミニウム	13775-53-6	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
結晶性シリカ	14808-60-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
酸化チタン (IV)	13463-67-7	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	9.6	

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意**国内規制がある場合の規制情報**

取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令**国内法規制及び関連情報****日本国内法規制（主な適用法令）**

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査（リスクアセスメント）すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

化管法：指定化学物質

労働安全衛生法：令和 4 年厚生労働省告示第 371 号 がん原性があるものとして厚生労働大臣が定めるもの

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降 2027年3月31日迄	2027年4月1日以降
ホウフッ化カリウム	弗素及びその水溶性無機化合物	該当	該当	該当
六フッ化ナトリウムアルミニウム	ヘキサフルオロアルミン酸三ナトリウム	該当	該当	該当
結晶性シリカ	結晶質シリカ	該当	該当	該当
酸化チタン(IV)	酸化チタン(IV)	該当	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
ホウフッ化カリウム	ホウ素化合物（ホウ素として）	405	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。